

今年も魅せます 博多の伝統芸能

博多芸妓の世界

入場
無料

九州国立博物館 ミュージアムホール

平成28年
3月19日(土)

12:00 ~ 参道お練り・天満宮参拝

13:30 ~ 公演 第1部

13:50 ~ 主催者挨拶・休憩

14:00 ~ 公演 第2部

梅の香が残る3月春爛漫のこの季節に、博多伝統芸能を引き継ぐ「博多芸妓」衆が、太宰府参道～天満宮～博物館と練り歩き、唄と踊りで九州国立博物館のホールを今年も華やかに彩ります。



＜立 方＞

こまこ
梅香
和可奈
よし花
桜子

＜地 方＞

〔唄〕 美恵子
はと奴
〔糸〕 愛佳
(三味線) 綾子

【博多芸妓・券番の歴史】

博多に芸妓が登場したのは江戸時代の中頃以降と言われ、明治になってから、芸妓の取次ぎや花代といわれる出演料などの清算を行う事務所(券番)ができました。博多の芸妓は、おおらかできつぷがいの評判で世に知られ、明治・大正時代には2,000名を越える芸妓を抱えました。

空前の好景気に沸く大正時代には5つの券番が存在したこともありましたが、戦時体制下で消滅後、戦後復活して、昭和60年に全ての券番が一つにまとまり、「博多券番」となり現在に至っています。



- ◆ 主 催 公益財団法人 九州国立博物館振興財団
- ◆ 共 催 九州国立博物館、博多伝統芸能振興会、太宰府天満宮、太宰府観光協会
- ◆ 問い合わせ先 公益財団法人 九州国立博物館振興財団
Tel: 092-918-2160 E-mail: zaidan@kyukoku.or.jp
※ 天候等により内容等が予告なく変更になる場合があります。